

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第81号 (H30.4.22)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 4月、各地で入社式、入学式等があり若い方々が新しい一歩を踏み出されていますね。また異動等により新たな任地に赴任された方も多くおられると思います。今年の4月は天候に恵まれ、気温も高く過ごしやすい月ではなかったかと思えます。

さて、3月に山元香代子先生がヘルシーソサイエティ賞を受賞されましたが、先生にはその後ザンビアに出立され、早速現地での活動に取り組まれています。

今回は山元香代子先生からの現地活動報告やザンビア大使館からの情報をお伝えします。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

会の経過報告等

- ・4月になり、例年同様、法人県民税、市民税の減免申請を行いました。
- ・また、法人役員の任期が来ましたので、総会で了解いただきましたとおり全員再任との変更申請、並びに理事の変更登記申請を行いました。
- ・これから2年間、理事の役割をきちんと担っていきたいと考えております。ご支援よろしくお願いいたします。

現地活動報告 (山元香代子先生から)

みなさま いかがお過ごしでしょうか。私は3月27日に東京でのヘルシーソサイエティ賞の授賞式に出席し、4月2日ザンビアに戻りました。受賞後のスピーチでもお話ししたのですが、この賞はザンビア人スタッフ、地域のボランティア、支援して下さる多くの方々と共にいただいた賞だと思います。ほんとうにありがとうございます。

こちらは、雲の多い天気が続き、肌寒い毎日です。朝晩は長袖を着ないと寒いです。今年の雨季はメイズ (トウモロコシ) の種をまいた後に雨が少なく、2月には土砂降りになったりとおかしな天気が続き、メイズが不作だと聞いています。ルサカに戻ってからはありがたいことに断水はないのですが、水圧が低く給湯器は使えず、お湯が出ないので、貯めた水で行水をしています。

4月4日はルアノでの巡回診療。3月は道路状況が悪く、ルアノに到達することができませんでしたので、患者数は141名と多く、マラリア陽性は127名中4名(3%)。昨年今頃は陽性率が19%でしたので、昨年11月のマラリア蚊の殺虫剤噴霧の効果があったと考えています。かぜ症状の患者が多くみられました。予防接種も実施できました。

4月11日はニャンカンガでの巡回診療。スケジュールの変更があり、十分周知されていなかったらしく患者数は67名と少なかったのですが、準医師のムレタさんが同行できず一人での診療でしたので、正直助かりました。マラリア陽性は65名中3名(5%)。昨年今頃は陽性率が24%でしたので、昨年マラリア蚊の殺虫剤噴霧の効果がやはりあったと考えています。ムワプラヘルスポストのスタッフが同



行し予防接種を実施、彼女は接種の終了後私の診療を手伝ってくれました。

12月に事故にあった車は修理が終わって戻ってきましたが、ショックやサスペンションを新しいものに取り換える作業をしています。もう1台のランクルはディフベアリングなどの調子が悪く取り換え、後輪のタイヤを新品と交換しました。燃えたランクルは2月に保険会社が引き取り、近いうちに80,000クワチャ 日本円で900,000円のお金が口座に送金される予定です。

4月17日からまずルアノで、その後ニャンカンガでのマラリア蚊の殺虫剤噴霧が始まる予定です。その準備で忙しくしています。車の修理のため、週末も運転手は作業をしていました。噴霧活動の途中で車の大きな故障のないことを願っています。何とか皆で力を合わせて乗り切っていこうと思います。

私の不在の間も多くの方々に助けいただきました。車の手配がつかず、レンタカーを借りながらルアノ、ニャンカンガそれぞれ月1回で巡回診療は継続されましたが、3月は道路状況が悪くルアノにはたどり着けませんでした。道路の状態をみながら、徐々に元のペースに戻していこうと考えています。みなさまからの支援に心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

*現地の様子 ①お昼ご飯 (キャッサバ、キャベツ、干し魚、シマ)、②キャッサバをすりつぶしている様子、③豆を炭で煮ています、④家の裏の畑で育てているメイズ (とうもろこし)



①お昼ご飯



②棒ですりつぶします



③炭で煮ています



④家の裏の畑で育てているメイズ=ネズミにかなり食べられています(>_<)

ザンビア日本大使館情報

日本ザンビアハンドボール親善試合の開催

2018年3月3日(土)、首都ルサカのオートモオーティブ・インドア・フットサル・アリーナにおいて、ザンビアハンドボール協会の主催により、日ザンビアハンドボール親善試合が開催されました。

本親善試合は、日本人コミュニティによるザンビ





アハンドボールへの支援に対する感謝の意を込めて、ザンビアハンドボール協会により企画されました。

親善試合ということで、ザンビア側はザンビアハンドボール協会関係者がチームを結成し、日本側は JICA 関係者、NGO 関係者及び日系企業関係

者がチームを結成し対戦し、結果、日本チームが 25 対 19 で勝利を収めました。

当日は、ザンビアの若手ハンドボール選手や在留邦人を含め約 150 名が会場に集まり、大きな声援を送っていました。

同試合に際して、ビクター・バンダ・ザンビアハンドボール協会会長より、ザンビアと日本の二国間の良好な友好関係は大変喜ばしく、また、ザンビアにおけるハンドボールの振興のため、日本の多くの方々から支援を頂き心から感謝している旨の挨拶がありました。

また、青年・スポーツ・子供育成省の次官の代理として来場したギブソン・ムヤウレ・スポーツ副局長から、ザンビアにおけるハンドボールを含めたスポーツ活動に対する日本の支援に対する謝辞が述べられました。

側嶋大使は、日本人有志のザンビアハンドボールへの支援に言及し、ザンビアハンドボールチームが 2020 年東京オリンピックに出場できることを期待していること、このためザンビアチームを応援していくことを述べました。（在ザンビア日本大使館 ホームページより引用）



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・新しい事業年度（事業年度は1月から12月）となりました。賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をお願いします。
- ・当法人は認定NPO法人であり、ご寄附（賛助会費含む）いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名：NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称（全角）：トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンスルカイ

*平成30年もどうぞご支援のほどよろしく申し上げます